氏 授 与 し た 学 位 専 攻 分 野 の 名 称 学 位 授 与 番 号 学 位 授 与 の 日 付 学 位 授 与 の 要 件	 横山裕介 博士 医学 博甲第4894号 平成26年3月25日 医歯薬学総合研究科機能再生・再建科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学 位 論 文 題 目	A New Navigation System for Minimally Invasive Total Knee Arthroplasty (人工膝関節置換術に対する低侵襲ナビゲーションシステム)
論 文 審 査 委 員	教授 伊達 勲 教授 木股 敬裕 准教授 西田 圭一郎

View metadata, citation and similar papers at core.ac.uk

brought to you by $\overline{\mathbb{I}}$ CORE

学位論文内容の要旨

人工膝関節置換術の長期成績には、正確なインプラント設置、アライ メント獲得が関与している。ナビゲーションシステムは術中に正確な骨 切りを可能とすることから、その有用性が報告されている。一方、ナビ ゲーションシステムを用いると術野拡大、トラッカーピン刺入など侵襲 は増大する。我々は低侵襲にレジストレーションが可能なナビゲーショ ンシステムを開発し、開発ナビゲーションシステムの骨切り精度と操作 性を、既製のナビゲーションシステムと比較検討した。両ナビゲーショ ンシステムに必要なレジストレーション時間には有意差を認めなかった。 骨切り精度については、開発ナビゲーションシステムは既製のナビゲー ションシステムと同等もしくはそれ以上の精度を獲得した。開発ナビゲ ーションシステムは狭い領域でのレジストレーションが可能であり、従 来のナビゲーションシステムの問題点であった侵襲を軽減できる。

論文審査結果の要旨

人工膝関節置換術の長期成績を向上させるためには正確なイン プラント設置、アラインメント獲得が求められる。そのためにはナ ビゲーションシステムの使用が有用である。本研究では、より低侵 襲のナビゲーションを目的にCT-basedナビゲーションシステムを 開発し、既製のナビゲーションシステムと比較検討した。その結果、 既製のナビゲーションシステムと精度は変わることなく、狭い領域 でのレジストレーションが可能となり、より侵襲を軽減することが できた。本研究により、最小侵襲手術を目的としたナビゲーション システムの開発に成功したことは有意義である。

よって本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。

.